



かつら川だより

京都市立桂川中学校

第5号発行：令和元年8月30日

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」

～発信力・行動力を身につけ、

自己肯定感を得られる生徒の育成～



「実りの2学期」がスタートしました

7月20日から始まった夏休みも終わり、2学期がスタートしました。この夏休みは京都だけではなく、連日、各地から猛暑のニュースが伝えられました。夏季大会でも各競技で、競技規則を変更して、給水タイムを設けたり、試合開始時刻を変更したり、会場校ごとにエアコンのきいた部屋を開放していただくなどさまざまな熱中症対策が講じられました。また、今夏は大雨や台風の影響で全国各地に甚大な被害があり、多くの尊い命が奪われました。今なお、避難所生活をしておられる方々もおられます。被災された方々の今後の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

夏休み、全国中学校体育大会が近畿ブロックで開催され、京都府でも水泳競技・ソフトテニス・体操競技の3競技が行われました。本校の先生方や生徒の皆さんも役員として大会運営に協力していただきました。暑い中ご苦労様でした。全国大会ですから、確かにレベルの高いプレーや泳ぎ、演技に驚きの連続でした。しかし、試合や演技以外の場面で感心させられることが本当に多かったです。それは、「あいさつ」「整理整頓」「きびきびとした動き」、高い競技力をもつ選手こそ、当たり前のことがかきちんとできるんだと改めて感じました。部活動だけに当てはまることではなく、自分が為し得たいことにたどりつくためには、「凡事徹底」普段の当たり前のことを継続して徹底的にやり切れる、そんな自分を目指してほしいと思います。



やる気

松井秀喜選手の座右の銘は、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」という格言です。もとは心理学者であり哲学者でもあるウィリアム・ジェームズの言葉です。この言葉が伝えたいことは、『ルーティン(routine)・習慣化』が重要だということです。『習慣化』は、『やる気』を育んでいくのです。

生活の中に『習慣化』を取り入れると、余計なことは考えずに、落ち着いて集中して物事に取り組むことができるというわけです。

難しいことではなくてもいい、自分が決めたことを毎日続けていくことが大切なのです。学習・合唱コンクール・体育大会・部活動。自分がそしてクラス・学年が熱く燃え、実りのある2学期になることを期待しています。

■合唱コンクール・舞台発表

9月27日(金)

1年生の部 10:25～

2年生の部 11:15～

(昼食休憩)

3年生の部 13:10～

吹奏楽部演奏発表 14:20～

長岡京記念文化会館 大ホール

■体育大会

10月8日(火)＜雨天順延…9日(水)＞

開会式 8:50～

競技開始 9:15～

上記の予定で、合唱コンクール・体育大会を開催いたします。詳細は、後日、配布いたしますプログラムでご確認ください。保護者・地域の方々の多数のご来場お待ちしております。生徒たちの一生懸命取り組む姿をご覧いただけたら幸いです。